

平成19年度事業報告

【I】 歴博の調査研究援助活動等への援助

委任経理金 (100万円)

【II】 歴史民俗関係の図書等の発行・頒布

1. 歴博総合展示案内の発行・頒布

日本語版 4,000冊

2. 歴博企画展図録等の発行・頒布

(1) 西のみやこ 東のみやこ (3月27日～5月6日) 2,000冊

(2) 弥生はいつから！？ (7月3日～9月2日) 1,860冊

(3) 長岡京遷都 (10月10日～12月2日) 2,000冊

(4) 館蔵資料図録 武具コレクション 200冊

(5) 館蔵資料目録 安齋實砲術関係目録及び

所荘吉「青圃文庫」コレクション目録 100冊

(6) 縄文文化の扉を開く (平成11年度企画展) ※増刷 1,000冊

(7) 伝統の朝顔Ⅱ ※増刷 1,000冊

3. 歴史系総合誌「歴博」の発行・頒布

142号～147号 各1,000冊

4. 絵葉書等の発行・頒布

歴博館蔵品絵葉書 16,000枚

オリジナル風呂敷	180枚
オリジナルクリアファイル	3,000枚
オリジナルミニタオル	1,994枚
江戸図屏風扇子	500本

5. 展示解説シート用ファイルの頒布

6. 国立歴史民俗博物館研究報告等の発行・頒布

第134～第141集 各 200冊

7. 歴博ブックレットの発行・頒布

8	死・墓・霊の信仰民俗史	(増刷) 1,000冊
11	洛中洛外図屏風を読む	(増刷) 1,000冊
16	イギリスの博物館で	(増刷) 1,000冊
19	朝顔は語る	(増刷) 1,000冊
26	埴輪こぼれ話	(増刷) 1,000冊

[Ⅲ] ミュージアムショップの事業

1. 商品の仕入・販売

2. 販売するグッズ等の開発及び販売促進等

3. 全国の博物館図録の相互販売 (137館 869種類)

[IV] 友の会事業の実施

1. 「友の会ニュース」の編集・発行・配布（隔月）

（維持会員・普通会员には、歴史系総合誌『歴博』を同封）

2. 友の会講座 講師：いずれも歴博教員

(1) 古文書講座（初心者） 6月16日・23日・30日 計3回

講師：久留島 浩（歴史研究系）

(2) 考古学講座 計3回

10月27日 講師：小林 謙一（考古研究系）

11月 3日 講師：藤尾 慎一郎（考古研究系）

12月15日 講師：杉山 晋作（考古研究系）

(3) 「会員による見学会」（日帰り）

① 古河（茨城）	5月10日(木)	参加者	30名
② 成田（千葉）	7月22日(日)	参加者	43名
③ 旧木下河岸・吉岡（千葉）	9月16日（日）	参加者	43名
④ 東京国立博物館（東京）	11月1日（木）	参加者	26名
⑤ 房総風土記の丘（千葉）	3月12日（水）	参加者	40名

4. 「歴史の旅」

東北 歴史と考古の旅 11月10日(土)～12日(月)

講師：平川 南（館長）

小野 正敏（副館長） 参加者 41名

5. 「歴博映画の会」

第1回 11月3日（土）「海と山に生きる」

第2回 2月2日（土）「豪雪地帯の農家副業」

※国立歴史民俗博物館主催・国立歴史民俗博物館友の会協力事業

6. 「自主学習会」

(1) 近現代史読書会（『昭和史 戦後編』（半藤一利著）を読む）

4月から月1回 計12回

(2) 近世史読書会（『生きることの近世史』（塚本学著）を読む）

4月から月1回 計12回

(3) 古代の東国探訪学習会

4月から月1回 計12回

(4) 中級古文書学習会

4月から月1回 計12回

7. 館長特別講演会

4月21日（土）「古代国家と稲」